

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 3 月 9 日(2023.3.9)

【公開番号】 特開 2021-137559(P2021-137559A)
【公開日】 令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-044
【出願番号】 特願 2021-11247(P2021-11247)
【国際特許分類】
A 63 H 33/08(2006.01)
【FI】
A 63 H 33/08 C

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 3 月 1 日(2023.3.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

壁面部材と、
前記壁面部材に対し該壁面部材に交差する方向から着脱可能な床板部材と、
を備える組立玩具であって、
前記壁面部材と前記床板部材のいずれか一方に設けられた板片状の被挟持部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか他方に設けられ前記被挟持部を着脱可能に挟持する板片状の挟持部と、を有する結合係止部と、
前記壁面部材と前記床板部材のいずれか一方に設けられた凸部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか他方に設けられ前記凸部が挿入可能な凹部と、を有する凹凸保持部と、
を備え、
前記壁面部材と前記床板部材は、前記結合係止部の挟持により着脱可能に結合され、
前記被挟持部若しくは前記挟持部は、前記凹凸保持部の凸部と同じ側に形成され、且つ前記凸部の突出高さと同等若しくは低く形成されている、
組立玩具。

30

【請求項 2】

請求項 1 記載の組立玩具であって、
前記壁面部材は所定の厚みを有し、
前記床板部材は前記方向に延び且つ所定の厚みを有し、
前記被挟持部は前記床板部材の厚み方向の幅を有し、
前記挟持部は前記床板部材の厚み方向の幅を有し、
前記壁面部材と前記床板部材は、前記結合係止部の挟持及び前記凹凸保持部の凹凸係合により着脱可能に結合される、
組立玩具。

40

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の組立玩具であって、
前記結合係止部と前記凹凸保持部は隣接して設けられている、
組立玩具。

【請求項 4】

請求項 1～3 の何れか一項に記載の組立玩具であって、

50

前記挟持部は、一对の板片状の弾性片が対面して奥広がりの挿入空間を形成しており、
前記被挟持部は、前記挿入空間内に着脱可能で先端部が肉厚に構成されている、
組立玩具。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の組立玩具であって、
前記一对の弾性片は、窪み部内に設けられ、
前記一对の弾性片の先端は、前記窪み部から突出しないように設けられている、
組立玩具。

【請求項 6】

請求項 4 又は 5 に記載の組立玩具であって、
前記一对の弾性片は、開口を挟んで形成されている、
組立玩具。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載の組立玩具であって、
前記凹凸保持部の前記凸部と前記凹部の組み合わせ形状が、台形に形成されている、
組立玩具。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 の何れか一項に記載の組立玩具であって、
前記床板部材と当該床板部材が結合される前記壁面部材の領域には、複数の前記結合係止部が設けられ、且つ、隣り合う 2 つの前記結合係止部の間に前記凹凸保持部が 1 つ設けられている組立玩具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る組立玩具は、壁面部材と、前記壁面部材に対し該壁面部材に交差する方向から着脱可能な床板部材と、を備える組立玩具であって、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか一方に設けられた板片状の被挟持部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか他方に設けられ前記被挟持部を着脱可能に挟持する板片状の挟持部と、を有する結合係止部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか一方に設けられた凸部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか他方に設けられ前記凸部が挿入可能な凹部と、を有する凹凸保持部と、を備え、前記壁面部材と前記床板部材は、前記結合係止部の挟持により着脱可能に結合される。また、本発明に係る組立玩具は、壁面部材と、前記壁面部材に対し該壁面部材に交差する方向から着脱可能な床板部材と、を備える組立玩具であって、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか一方に設けられた板片状の被挟持部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか他方に設けられ前記被挟持部を着脱可能に挟持する板片状の挟持部と、を有する結合係止部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか一方に設けられた凸部と、前記壁面部材と前記床板部材のいずれか他方に設けられ前記凸部が挿入可能な凹部と、を有する凹凸保持部と、を備え、前記壁面部材と前記床板部材は、前記結合係止部の挟持により着脱可能に結合され、前記被挟持部若しくは前記挟持部は、前記凹凸保持部の凸部と同じ側に形成され、且つ前記凸部の突出高さと同等若しくは低く形成されている。

10

20

30

40

50